

スペシャル講演⁺

家族で叶えた 宇宙への夢

数字に関するクイズ

「517」という数字は何を表しているでしょうか？世界で517番目に私の妻は宇宙に旅立ちました。「54」は、妻が54番目の女性宇宙飛行士という数です。「8」は、日本人宇宙飛行士の数です。「2」は、日本人女性宇宙飛行士の数です。これは違う見方をしますと、「宇宙飛行士の夫の数」とも言えます。宇宙飛行士の夫になった人が2人しかいないということは、宇宙飛行士になるよりも大変だということを表しているのかなと思います(笑)。「1」は、子どものいるママさん宇宙飛行士の数です。

妻の夢、私の夢

妻は宇宙飛行士になるという夢を小さい時から持っていました。私も小さい時から宇宙飛行士になりたかったのですが、管制官も非常に責任が重くて重要な仕事だと懂れて、その道に進みたいと思いました。初めて妻と名刺交換をした時に、大胆にも「私は管制官になるのが夢です。管制官になったら、あなたが宇宙にいる間に管制室からプロポーズします」という自己紹介をしたのです。「いいですね。かっこいいですね。ぜひやりましょう」と妻が言いました。

結婚して子どもを授かり、母子手帳をもらうという作業から、私たち夫婦は出産までの間ずっと一緒に準備を行いました。子どもができたかどうかを調べに行くところからすべての検診、実際の出産まで、毎回会社を休んで一緒について行ったのです。そして私たち夫婦は育児休暇をそれぞれ取りました。宇宙業界は女性も男性も育児休暇を取る人が少なく、その中でそれぞれ3ヶ月ずつ育児休暇を取るというのは非常にチャレンジングなことでした。

仕事、家事、育児、介護

妻は2003年に単身でロシアに渡りました。まだ子どもが0歳です。そこで私は、「僕が子どもの面倒をみるから、1年間頑張るから」と送り出しました。あの時非常に大変だったのは、仕事・家事・育児・両親の

山崎 大地

Yamazaki Taichi

やまざき・たいち 昭和47年、神奈川県鎌倉市生まれ。有限会社国際宇宙サービス代表。平成9年、三菱スペース・ソフトウェアに入社、国際宇宙ステーションの運用管制官として「きぼう」の運用準備に従事。12年に宇宙飛行士候補の角野直子さんと結婚。長女誕生後、仕事・育児・両親の介護にと翻弄するが、16年に妻の渡米を機に家族を支えるため退職。「主夫」となる。のちにアメリカ永住権を取得し、宇宙関連のビジネスを起業。21～22年妻のスペースシャトル・ディスカバリー号での宇宙飛行を家族として支える。著書に「宇宙主夫日記」(小学館)、「宇宙家族ヤマザキ」(祥伝社)がある。